

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策2:保健・福祉・医療に関する政策～いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり～

施策3:子ども・子育て支援の充実

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
1	子育て情報の伝え方の工夫及び見直し	子育て世代は主にスマートフォンから情報収集をするため、広報紙に子育て情報を掲載しても浸透しない。 また、広報紙の情報掲載がわかりづらいことなどから、広報紙を見る意識が希薄となってしまう。	子育て関連情報については「保健センターからのお知らせ」のように集約した専用ページを設け、市民にとってわかりやすく、また市にとっても周知したい情報を的確に伝えられるようにする。	①既に実施済み	これまで、ホームページでは子育てに関連した情報を集約した「子育て応援サイト」を活用し情報提供していますが、子育て世代ではスマートフォン、iフォンが普及している実情から、平成27年度には、新たに、子育てに特化した「子育て支援アプリ」を構築し、情報提供に努めています。また、平成29年度には、アプリ内の構成について、必要とする情報を探しやすいよう見直したところです。 今後も、ホームページでの「子育て応援サイト」並びに携帯電話アプリの「子育て支援アプリ」を活用し、情報提供に努めていきます。	こども未来課
2	子育て情報の伝え方の工夫及び見直し	子育て世帯は多忙であり、ホームページの全ての情報に目を通すことは困難である。現行のホームページでは子育て関連情報が検索しづらい。	子育て応援サイトへのリンクをトップ画面に表示・配置させ、目につきやすくする。	②H30年度に着手予定	子育て関連情報を集約した子育て応援サイトへのリンクをホームページのトップ画面に表示できるよう調整します。	こども未来課
3	子育て情報の伝え方の工夫及び見直し	育児応援行政サービスサイト「ママフレWEB」や子育て支援アプリが周知されていない。	母子手帳に子育て支援アプリのQRコードを付し、母子手帳交付の際にその場でアプリのダウンロードを促す。	①既に実施済み	ママフレWEB「子育て応援サイト」並びにスマートフォン等の「子育て支援アプリ」の周知用チラシを作成し、母子健康手帳の交付時やその他各種手続きの際に配布して周知に努めており、「子育て支援アプリ」のチラシには、QRコードを付し、ダウンロードを促しています。 今後は、ご指摘の交付時での案内等を充実させ、利用者数の向上に努めていきます。	こども未来課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策2:保健・福祉・医療に関する政策～いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり～

施策3:子ども・子育て支援の充実

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
4	子育て情報の伝え方の工夫及び見直し	育児応援行政サービスサイト「ママフレWEB」や子育て支援アプリが周知されていない。	予防接種など、幼少期の子育て情報から成人の保健事業情報まで幅広く有効に活用でき、子どもの成長段階に合わせた「自分に必要な情報」を受けられることができるよう、内容の充実化を図っていく。	①既に実施済み	子育て支援アプリでは、生年月日や郵便番号等を登録することにより、対象を特定して情報配信する機能があり、これまでも健診等の情報を配信しております。今後も関係機関と調整し、内容の充実を図ります。	こども未来課
5	子育て情報の伝え方の工夫及び見直し	アプリの活用についてさらに検討するべきである。	企業との連携を図りアプリにCMを掲載する。 (企業は宣伝となり、一方、市は広告料が見込め相互にメリットがある)	④検討課題とする	広告が表示されるアプリも多くございますが、小さな画面の中で、広告により必要な情報が見えづらくなる場合もあります。 まずは、アプリでの情報提供を充実させ、広告については、今後の課題とさせていただきます。	こども未来課
6	子育て情報の伝え方の工夫及び見直し	市としての子育て支援の内容(情報)が市民にどこまで届いているのか把握できておらず、利用者の意見を効果的に反映できているとはいえない。	現行の子育て支援ガイドブックは情報量が多いことから、内容をわかりやすく充実させ、さらにQRコードを活用し簡単に検索できるようにするなど、情報の簡略化を図る。	①既に実施済み	子育て世代ではスマートフォン、iフォンが普及しており、必要な情報をスマートフォン等から入手することが主流となっています。 平成30年度からは、子育て支援ガイドブックを廃止し、「子育て支援アプリ」の充実を図り、情報提供に努めるとともに、QRコード入りのチラシを配布し、「子育て支援アプリ」の周知に努めてまいります。	こども未来課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策2:保健・福祉・医療に関する政策～いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり～

施策3:子ども・子育て支援の充実

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
7	子育て家庭の経済的負担の軽減についての検討	子育てナンバーワンのまちの実現に向け取り組んではいるが、他市との差別化を図るための、一歩先を行く鴻巣市独自の子育て家庭に対する経済的支援策がない。	人口減少対策として、子どもを増やすために「任意予防接種(おたふくなど)の無料化」や「0歳児のオムツ代補助(クーポン券)」など、子育てを行う早めの段階で、すぐに役立ち、目に見えた形の先行投資型の補助を図る。	②H30年度に着手予定	<p>平成30年度から新たに「このとり出産祝金支給事業」を実施します。これは子どもの出産を祝い、健やかな成長を願うとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りつつ、子育て環境の満足度を向上させるため、少子化対策のひとつとして実施します。</p> <p>内容としましては、1人目、2人目の出生の場合は20,000円分、3人目以降の出生の場合は50,000円分のお買い物券(鴻巣市商工会で発行するお買い物券)を支給します。</p> <p>予防接種関連では、本市では、無料で実施している定期予防接種の他に、任意予防接種の中でおたふくかぜとロタウイルスについて、市独自で費用の助成を行っています。</p> <p>更なる費用助成拡大については、今後も国の動向、先進地の取組を参考に調査・検討を進めます。</p>	こども未来課 健康づくり課
8	子育て家庭の経済的負担の軽減についての検討	子育てナンバーワンのまちの実現に向け取り組んではいるが、他市との差別化を図るための、一歩先を行く鴻巣市独自の子育て家庭に対する経済的支援策がない。	<p>オムツクーポンの利用を市内店舗に限定し導入することで、まちの活性化にも繋がるが見込める。</p> <p>さらに店舗毎に来店ポイントやクーポンを追加で付与することで、来客者の増加に伴う利益が協力店にも見込めるような、継続した経済支援を検討する。</p>	②H30年度に着手予定	<p>平成30年度から新たに「このとり出産祝金支給事業」を実施し、1人目、2人目の出生の場合は20,000円分、3人目以降の出生の場合は50,000円分のお買い物券を支給し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るものですが、このお買い物券は鴻巣市商工会で発行するお買い物券であり、鴻巣市内の店舗のみ利用可能となっています。</p> <p>市内店舗を利用することにより、地域振興にも繋がるものであり、実績によって今後の協賛等の発展性にも期待しています。</p>	こども未来課 産業振興課
9	男性の育児参加促進	「子育てナンバーワンのまち」の実現の一つとして、共働き家庭の増加により、母親のみならず父親も子育てに積極的に関わることが求められていると考える中で男性の子育て参加に対する支援が不足している。	「鴻巣市は男性の育児を支援する企業がたくさんある」「多くの男性が子育てをやっているまち、鴻巣市」といった目標を掲げ、その実現に向け男性の育児休暇取得について市内企業に理解と協力を求め、男性の子育てを支援する。	④検討課題とする	<p>市では、ご提案のとおり、父親の積極的な育児参加は重要な要素と考えており、1日ひとりで子育てできる父親の育成を目指し、育児のヒントが詰まった父親向けの冊子「イクメンの素」を配布し、父親の子育てを支援しています。</p> <p>一方で、市独自の企業への育児休暇取得の促進には、市内企業の実態把握や協力調整がまだまだ必要であるため、引き続きの検討課題としていきます。</p>	こども未来課 産業振興課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策2:保健・福祉・医療に関する政策～いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり～

施策3:子ども・子育て支援の充実

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
10	子育てと仕事の両立支援の推進	近年は、仕事をしながら子育てしたいとするニーズが高まっているとともに、特に出産後の職場復帰などの充実化が求められている。 子育てしながら働きたい母親にとって、短時間・短期間での求人ニーズを求める傾向が高いものの、市の現状では産業振興分野との連携が取れているとはいえず、容易に情報取得ができない。	ジョブサポートこうのすと市内企業とが連携を図り、短期・短時間就労の求人情報を収集し、子育て支援サイトやアプリ内で提供するなど、利用頻度の高い媒体での情報発信に取り組む。	④検討課題とする	実施にあたり埼玉労働局との調整が必要であり、今後の検討課題としていきます。	産業振興課
11	子育てと仕事の両立支援の推進	近年は、仕事をしながら子育てしたいとするニーズが高まっているとともに、特に出産後の職場復帰などの充実化が求められている。 子育てしながら働きたい母親にとって、短時間・短期間での求人ニーズを求める傾向が高いものの、市の現状では産業振興分野との連携が取れているとはいえず、容易に情報取得ができない。	現在、年に2回行われているマザーズ就職セミナーの回数を増やし、出産や子育てに伴い離職した人のために、求人や保育サービスなどの各種情報の収集や提供、再就職のための相談体制の整備をする。	⑤現時点では実施しない	マザーズ就職支援セミナーは他のセミナー(若者・シニア)に比べ参加者が少なく、回数を増やすことでは支援の充実が図れないと判断しているため、現時点では回数の増加は検討していません。 平成30年度からはセミナー時の託児委託を計画しており、現在のセミナー回数で参加者を増やせるよう取り組んでいきます。	産業振興課
12	子育てと仕事の両立支援の推進	保育所への入所審査時にはすでに就職をしていることが大きな要件となっているため「仕事を見つけるのが先か、子どもを預ける先を見つけるのが先か」という問題が生じている。 また保育所の一時預かりの利用はコスト面で不安があるため、子育てしながら再就職を目指す家庭にとって負担となっている。 自宅近くの保育所に入所を望む声が高い一方で、希望通り入所できない実態も聞かれる。	保育所への送迎手段として、駅でのピックアップ制度(駅の保育ステーションで一旦預かり、そこから各保育施設との間を送迎する制度)を導入する。	⑤現時点では実施しない	駅を利用する保護者や、定員の都合により兄弟別々の保育施設を利用する保護者にとっては、便利な制度であることは認識しています。 しかしながら、保育ステーション事業は、施設や送迎者、職員の確保や児童の負担等細かい配慮などの課題があるほか、費用対効果の面でも現時点での実施は難しいのが実情です。 民間活力の導入等を含め、多角的に検討は進めていきます。	保育課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策2:保健・福祉・医療に関する政策～いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり～

施策3:子ども・子育て支援の充実

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
13	保育の質の向上・充実の推進	鴻巣市全体として必要な幼児教育・保育についての、理念や考え方をしっかり提唱できているのか。 鴻巣市独自の理念や基本的考え方の提唱の検討	幼稚園・保育園・認定こども園、小規模保育や、公立・民営問わず、鴻巣市で保育の質を全体的に高めるための、核となるような理念を、一体となって構築する。	④検討課題とする	市では、保育の質を高めるための研修会を公立保育所のみでなく、市内すべての保育施設を対象に実施しています。また、小規模保育施設は、連携施設である保育所と合同で保育を行ったり、運動会などの行事を一緒に行っています。 現時点では円滑に連携されていると考えていますが、将来に向け引き続きの検討事項としていきます。	保育課
14	保育の質の向上・充実の推進	鴻巣市全体として必要な幼児教育・保育についての、理念や考え方をしっかり提唱できているのか。 保育実践(具体的な保育行為)の改善・向上	幼稚園・保育所と小学校の先生との定期的なコミュニケーションや連携をさらに図り、途切れなく見守る仕組みを構築する。	④検討課題とする	小学校によっては、年長児の体験入学や、小学校の先生が幼稚園や保育所へ行き保育参観を行っています。また、就学指導委員会により、情報共有や意見交換を行っています。 幼稚園・保育所と、小学校における教育の円滑な接続のためには、相互の教員間での意見交換や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなどの連携を図ることが大切であると考えます。各団体の意向調整が不可欠ですが、鴻巣市全体として、合同の研究会・研修会、保育参観や授業参観、事例を持ち寄って話し合ったりする機会の設定等、連携が図れるように研究していきます。	保育課 学校支援課
15	保育の質の向上・充実の推進	鴻巣市全体として必要な幼児教育・保育についての、理念や考え方をしっかり提唱できているのか。 保育実践(具体的な保育行為)の改善・向上	保育所毎の特色(泥遊びなど自然と触れ合うことに力を入れている園、音楽に力を入れている園など)をさらに強く打ち出す。	①既に実施済み	保育施設については、各園の保育目標や特色等を保育所入所案内や市ホームページで紹介しています。 幼稚園については、市ホームページや子育てアプリから各園のホームページを紹介しています。 今後さらに各園の特色が周知できるような体制を研究していきます。	保育課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策2:保健・福祉・医療に関する政策～いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり～

施策3:子ども・子育て支援の充実

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
16	保育の質の向上・充実の推進	鴻巣市全体として必要な幼児教育・保育についての、理念や考え方をしっかり提唱できているのか。 保育実践(具体的な保育行為)の改善・向上	子どもたちが心身ともに充実し豊かに生きていくことを支えるために、幼稚園・保育所だけでなく、親と保育方針を共有し実践する。	①既に実施済み	保育参観や保育参加等を実施したり、保護者と面談をするなど、保護者と情報を共有し一緒に子育てを行っています。引き続き保護者とのコミュニケーションを図っていきます。	保育課
17	保育の質の向上・充実の推進	鴻巣市全体として必要な幼児教育・保育についての、理念や考え方をしっかり提唱できているのか。 保育実践(具体的な保育行為)の改善・向上	園舎内のみではなく、保育所を出て地域の公園などで自然に多く触れる機会をつくる。 活用される公園には、施設充実化に取り組み、メリハリをつけた整備をする。	①既に実施済み	各園では、散歩や近隣公園での遊びを行ったり、園のバスを利用し、園外保育として公園などに行き、草花に触れたり、虫探しをしたりと四季折々の自然に触れる機会を作っています。今後とも、より園外保育が充実できるようニーズをつかみながら、施設の充実を図っていきます。	保育課 都市計画課
18	保育の質の向上・充実の推進	保育環境の向上による保育者の資質強化	市内外の幼稚園間、保育所間での先生や保育士の出向制度を導入し、出向先で学んだ改善点や成功体験を職場に活かす機会を設ける。	④検討課題とする	保育の仕方や、地域との関わり等、学ぶ点は多々あると思います。 一方で、施設によって職場人数的に困難な面もあるため、引き続き、方法等調査研究していきます。	保育課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策2:保健・福祉・医療に関する政策～いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり～

施策3:子ども・子育て支援の充実

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
19	保育の質の向上・充実の推進	一般的にはまだまだ男性保育士は少なく、鴻巣市内では現在2名の男性保育士が在籍しているが、男性ならではの保育が求められる機会も多く増員が求められている。	男性保育士の増員と育成に積極的に取り組む。	⑤現時点では実施しない	男性保育士に限らず、保育士ひとりひとりの良さを活かし、また苦手な分野をフォローする等働きやすい環境づくりのため、保育士育成には今後もOJTを中心に質の向上に取り組めます。 一方で、男性保育士の増員につきましては、質・量の維持の面からも、男性保育士の優先確保は現時点では難しいのが実情です。	保育課
20	地域で子どもを育むための家庭保育と地域コミュニティの取組	隣近所の人や地域とのつながりの希薄化により、近隣の住民などから日々の子育てに対する助言、支援や協力を得ることが困難な状況になっている。	家庭と地域、学校とで連携を図り、登下校時の旗振りをサポーター(見守り隊)や町内会・自治会が協力して行い、地域全体で子どもを守り、子育てを支援する	①既に実施済み	市では、ホームページや広報紙等により、自主防犯パトロールグループを募集しています。また、自治会長研修会や防犯講習会などの機会を通じて、地域の安全は地域で守ることの重要性を周知しています。 現在、自主防犯パトロールグループは130団体が登録されており、市では防犯ベストや帽子などを支給しています。 今後も、自主防犯パトロールグループの結成を推進するとともに、防犯活動を通じた地域のつながりが活発に行われるよう支援していきます。	自治文化課
21	地域で子どもを育むための家庭保育と地域コミュニティの取組	共働き世帯の支援者に考えられる、孫の世話をする祖父母にとって、終日世話をするのは精神的にも体力的にも困難である。 地域子育て支援拠点なども、若い世代の利用が中心であり、コミュニケーションがとりづらい傾向にある。	地域子育て支援拠点に包括センターを併設することで、利用頻度をさらに高め、活字での情報収集以外に、子育てをするパパ・ママ・祖父母同士や世代間を超えた交流ができるようにする。	④検討課題とする	市では現在、子育ての様々な相談のワンストップ窓口として、子育て世代包括支援センターを「市役所こども未来課」内に設置しています。窓口には保健師等の専門員を配置する必要性もあることから、包括支援センターの拡充については、今後、地域子育て支援拠点である子育て支援センターや児童センター等の児童福祉施設を中心に考えています。 ご提案の地域子育て支援拠点での実施は、施設の性質上、利用者の多くが若い世代である実情があります。一方で、児童福祉施設は世代間交流ができる環境と認識しており、祖父母の方も利用しやすい工夫を、今後の課題とさせていただきます。	こども未来課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策2:保健・福祉・医療に関する政策～いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり～

施策3:子ども・子育て支援の充実

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
22	地域で子どもを育むための家庭保育と地域コミュニティの取組	共働き世帯の支援者に考えられる、孫の世話をする祖父母にとって、終日世話をするのは精神的にも体力的にも困難である。 地域子育て支援拠点なども、若い世代の利用が中心であり、コミュニケーションがとりづらい傾向にある。	保育所による園庭開放や児童センターの活用だけでなく、より気軽に利用できる自宅近くの公園で近隣保育所の園児と一緒に遊べる仕組みを作る。	④検討課題とする	ご提案の、公共施設を中心に身近な空間を活用してもらい、様々な立場の人たちが交流してもらえる姿は、理想的な姿ともいえるものであり、どのような取組により理想に誘導できるのか、検討を進めていきます。	保育課
23	地域で子どもを育むための家庭保育と地域コミュニティの取組	子育て経験者や保育経験者など、地域の経験豊富な人材が活躍できる場が少ない。	リタイア者の人材バンクを設ける	⑤現時点では実施しない	園ごとに、地域の方が行事に参加し交流を深める活動などを実施していますが、保育の持つ専門性や必要とする技能の精査、保育需要の高まりからみられる保育士不足の実情からも、現時点で人材バンクを設けることは、実際の効果面からも厳しいと認識しています。	保育課